

かしこく
やさしく
たくましく

直方第三中学校 学校だより
文責 校長 坂田幸則

令和7年2月25日 第22号

努力のコツ

◇「努力の法則」

令和7年が始まり早くも2カ月が経とうとしています。

生徒のみなさんは、3学期期末考査を終え、ほっとしているのではないのでしょうか。結果はどうでしたか。努力した分点数が上がった人もいれば、期待したほど結果がついてこなかった人もいることでしょう。

みなさんは「努力の法則」を知っていますか。「テスト前に目標を立て、勉強に励んでみたものの、結果は目標点からは程遠い」という経験がみなさんもあると思います。

多くの人が感じているように、勉強であれスポーツであれ、努力したら必ず結果が出るとは限りません。そのため、「ああ、やっても無駄だ。私には無理だ」とあきらめてしまいがちです。しかし、そこであきらめずに100回続けると、ある日突然、結果が表れるというのです。

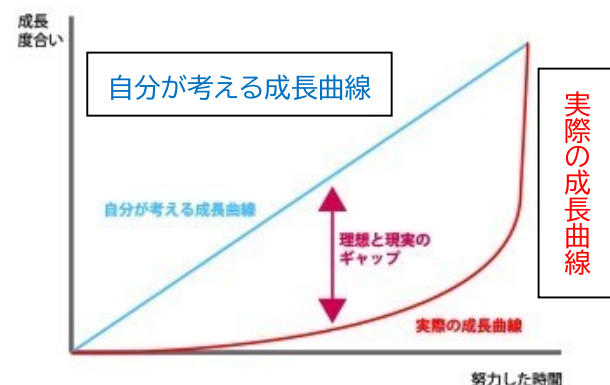
これを「努力の法則」または「100回の法則」と言います。グラフで表すと右のようになります。これを「成長曲線」（赤線）と言います。わかりやすい例え話を1つ。

「100回たたくと壊れる壁があったとする。でも、みんな何回たたけば壊れるかわからないから99回までたたいて、壊れず途中であきらめてしまう」。

いきなり「1日3時間勉強を100日」などでは継続が難しいと思います。

「1日5個英単語を覚える」「漢字を10個覚える」これを100回。これなら続けられそうです。小さな努力でも100回と考えて続けてみましょう。

まずは簡単なことから始めて、100回の壁を乗り越えてみませんか。結果が出るまであきらめなければ、必ず道は開けます。



◇ 現3年生入試状況 2月19日現在

本校3年生の現在までの入試状況です。

【私立 推薦・専願・一般合格者数】

推薦11名 専願29名 一般48名（うち進学決定が6名）

※私立一般合格者は必ずしもその学校に進学するとは限りません。

【公立 特色化・推薦合格内定者数及び一般受検者数】

推薦27名 特色化33名 一般11名

現時点で、3年生102名が合格内定を受け、ほぼ進路が決定した状況です。

そして、公立一般入試などが残っている生徒が12名（全体の10分の1）です。

以前であれば、この時期には学年の半数以上の生徒が公立一般入試に向けてしのぎを削っていました。しかし、この状況（公立一般を待たずに、生徒の多くが進路を決めている状況）がここ数年続いています。こうなると多くの生徒たちにとっては、入試対策というよりも、高校進学後に一般受検の人たちとの学力差をなくすための学習という目的になるでしょうか。来年もこのような状況は変わらないと予想されます。

令和6年度本校生徒の学力実態について

本校では、子どもたちの基礎学力の定着に向けて、学校全体で「授業におけるICT機器の効果的な活用」「飛翔タイムの取組における教え合い学習」「計画的な家庭学習の充実」に力を入れて継続的に取り組んでいるところです。

【1年生】

6月に実施された「福岡県学力調査」において、国語、数学ともに福岡県の平均値を超える結果になりました。しかし、問題別に見ると、国語、数学ともに記述式の正答率が県平均値にはわずかに下回っていました。そのため、授業や補充学習を通して、記述するために必要な知識や技能を身に付けるための問題を中心に取組を進めています。

【2年生】

6月に実施された「福岡県学力調査」において、国語では福岡県の平均値を上回る結果になりました。また、数学においては、県平均値に達しておらず、図形や関数の問題に対する正答率に課題が見られました。そのため、数学の授業での解説や補充学習で、図形や関数の問題を中心に取組を進めています。

【3年生】

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」において、国語、数学ともに全国及び福岡県の平均値をわずかに下回る結果となりました。しかし、国語の「思考力、判断力、表現力」の問題については、これまでの授業や取組を通して、1年時、2年時と比較しても上昇傾向にあることが成果として結果として表れています。